

東北地連女性協議会

定期大会&女性のつどい開催

9月7日土曜日、福島県郡山市を会場に第五〇回東北地連女性協議会定期大会並びに東北版女性のつどいを開催した。今回は一二単組から二二名が参加し、活発な議論が交わされた。

一年間の活動報告では、有休取得義務化の開始に伴い、労働環境調査のプロシエクトの立ち上げ、番組の放送休止による仕事量の物理的な削減の実現など、労働環境の改善が進んだ単組があった。また、育児時短勤務や育児のためのシフト

性協内で共有し、今後の組合活動へ役立てていこうと合致した。

勤務について、子どもの対象年齢の引き上げに成功したという、女性協にとってうれしい報告も数件あった。一方、若年層の離職・女性社員の退社が続いているという単組がいくつかあり、なかなか打開策を見出すことができない厳しい状況だという相談があった。若年層の離職は多くの単組が抱える問題で、業界としてもこの問題にどう向き合うか考えていく必要がある。女性が働きやすい環境づくりの成功例や経験を女

第五七回全

国女性のつどいが来年9月12日・13日に福島県郡山市で開催されるため、それに向けた話し合いや会場などの下見も合わせて行った。分科会のテーマを決める中で、「ハラスメント」というテーマを入れてほしいという意見があった。どう



経験を共有しこれからのために

か、自分の受け取り方でハラスメントを回避する方法などを知りたいという声もあがり、自分で自分を守る必要性を多くの人が認識している。

この全国女性のつどいは、以前は女性メインのイベントだったと聞くが、今は女性だけでなく、男性とその周りのすべての人たちが手と手を取りあって生きていく社会を目指すためのイベントとなっている。全国各地からの参加者に満足して帰ってもらえるような女性のつどいを目指し、準備・運営をがんばっていきたい。

してもハラスメントがゼロにならない現実とどう上手く向き合って生きていくの

(東北地連女性協議会議長

角濱美寿々)